

2013年7月9日

各位

ENEOSグローブ株式会社

中国PDHプラントへのプロパン初荷役について

当社(代表取締役社長:松澤 純)は、2013年7月2日、中国のPDH(Propane Dehydrogenation)プロジェクト第一号である天津渤化石化有限公司向けへ、原料となるプロパンの初荷役を無事完了しましたので、ご連絡いたします。

本取引は、中国で計画されている一連のPDHプロジェクトの第一号案件であるとともに、現在当社が強化しているトレーディング事業の一つであります。

当社が長期用船している大型LPGタンカー”SUNNY JOY”は、6月10日にプロパンを満載し、アブダビ首長国のルwis港を出港、天津渤化石化有限公司のPDHプラントがある天津港へ6月30日に到着し、荷役を行いました。

これに合わせ、7月1日天津港において、当社社長松澤、副社長玉置に加え、ホスト役である天津渤化石化有限公司の周総経理、契約当事者である丸紅株式会社の田邊執行役員・エネルギー第一部門長、矢部執行役員・中国総代表、及びアブダビ国営石油会社その他多数参列のもと、LPGタンカー初入港を祝う記念式典が盛大に開催されました。

当社は、本PDHプロジェクト向けに留まらず、LPG需要の拡大が見込まれる中国全土を含むアジア域におけるLPG供給にも積極的に展開していく方針です。

【天津渤化石化有限公司のPDHプロジェクト概要】

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. プロピレン生産能力 | 60万MT/年 |
| 2. 原料プロパン消費量 | 80万MT/年 |
| 3. 原料受入設備 | プロパン冷凍タンク 12万MT(4万 MT×3基) |

以 上

当記事の連絡先
経営企画部 広報グループ
TEL 03-5253-9060



中国・天津渤化石化有限公司の記念式典で祝辞を述べる当社松澤社長(左から2番目)